

令和4年度 指定管理者年度総合評価表
(令和4年4月～令和5年3月実施分)

作成日	令和5年6月9日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市立南郷デイサービスセンター及び八戸市立老人福祉センター南郷	
所在地	八戸市南郷大字島守字阿庄内 15 番地 2	
施設概要	<p>(設置目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南郷デイサービスセンター <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の高齢者に対して、入浴サービス等の各種サービスを提供し、心身機能の維持向上や社会的孤立感を解消するとともに、家族介護の身体的、精神的負担の軽減を図ること。 ○老人福祉センター南郷 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象に、健康づくり、仲間づくり、趣味活動等の場を提供し、各種相談に応ずるとともに、健康の増進及び教養の向上を図り、高齢者の福祉の増進に資すること。 <p>(建物構造) 鉄筋コンクリート造平屋建</p>	
指定管理者	名称	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
	代表者	会長 田口 豊實
	所在地	八戸市根城八丁目 8 番 155 号
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営、設備等の維持管理に関する業務 ・老人福祉センターの使用許可に関する業務 ・高齢者の各種相談や健康増進、教養の向上に関する業務 	
市所管課 (問合せ先)	福祉部 高齢福祉課 高齢福祉グループ	
	電話	0178-43-9104 (直通)
	E-mail	koreif@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<p>利用者へのサービス向上、職員の資質向上を図るため内部研修及び外部研修を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体温測定、マスクの着用、消毒、換気、パーティションの設置、空気清浄機の設置、体調管理、県外への往來の報告（家族を含む）等により、感染拡大防止の徹底を図った。</p> <p>○八戸市立南郷デイサービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底していたが、利用者の感染が確認され、まん延防止措置が急務となり令和4年8月18日から8月24日まで、令和4年8月31日から9月1日までの合計10日間業務を休止した。 ・新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための10日間の休館に加え、利用を控える人が非常に多くなったため利用者数が減少し、利用者収入が計画を下回った。 ・新型コロナウイルスの感染対策を講じて、利用者の生活意欲の向上を目的とした近隣へのドライブ、バス遠足、季節行事、創作活動、昔遊び、伝統芸能の鑑賞会などを行うことができた。 ・広報誌を年4回発行し、利用者及び家族、関係機関へ配布し、行事や活動状況を周知した。 <p>○八戸市立老人福祉センター南郷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、令和4年4月1日から4月10日まで休館したほか、一部の自主事業を中止したが、手づくり教室や健康体操教室、DVD鑑賞による安全対策教室を開催し、教養、生きがいと健康に関する事業、デイサービス利用者との交流事業を展開し、介護予防等に努めた。
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による休館が昨年度より少なかったため、入浴者数（前年度比 112.8%）、利用者数（前年度比 118.7%）ともに増加となった。 ・地域に出向き、介護に関する講話や、センターのPRを行った。 ・地域巡回バスを定期的に運行し、利用者の利便性を確保した。 ・関係機関の協力を得て、避難訓練、消火訓練を行なった。 ・経年劣化により、設備等の不具合が多く発生しているが、緊急を要する修繕には速やかに対応し、業務に支障を来すことなく運営することができた。
今後の目標	<p>引き続き、様々な感染に対する予防対策を徹底し、常に適切な実施方法を考慮しながら、下記の事業に取り組む。</p> <p>○八戸市立南郷デイサービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策に取り組みながら、レクリエーションや各種行事等の充実・地域との交流を図り、利用者の安心や生活意欲の向上、心身機能の維持・向上につなげる。 ・利用者や家族との連絡を密にし、利用者の状態把握に努め、家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・関係機関と連携し、情報を得ながら新規利用者の拡大を図り、収入の安定につなげる。 ・内部研修のほか、外部の研修を積極的に取り入れ、サービスの質の向上と、職員の資質向上を図る。 <p>○八戸市立老人福祉センター南郷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎に使用していたバスを老朽化に伴い廃車にしたが、利用者の利便性を確保するため、デイサービスの送迎車を利用し、引き続き地域の巡回運行を続ける。 ・地域へ出向き、事業のPRを行い、新規利用者の拡大を図る。 ・利用者の高齢化が進んでいるため、今後も健康相談や介護予防教室、安全対策教室等を継続し、日々の生活に役立つ情報を発信していくとともに、地域の方が気軽に集えるような行事等の企画に努める。 ・日々のコミュニケーション等の中から利用者のニーズや希望を把握し、サービスの向上に努める。

■市（所管課）の総合評価

評価	<p>新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら施設を運営することができた。 利用料金収入を大きく減らしたが、経費削減等により収支を黒字とすることができた点は評価できる。</p> <p>【南郷デイサービスセンター】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大のため施設を休館した影響などを受け、利用者数が前年度の実績を下回った。その結果、利用料収入が収支計画を大きく下回ることとなった。 利用者数の増減が経営に直結することから、新規利用者の拡大や継続利用者への更なるサービス向上に向けた取組を継続すること。</p> <p>【老人福祉センター南郷】</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策のため休館や一部事業を中止したものの、工夫を図り介護予防に努めることができた。今後も利用者の増加につながるような取組を継続しつつ、高齢者の「集いの場」としての機能を果たすことを期待する。</p>
指摘事項	<p>今後も引き続き新型コロナウイルス感染予防対策に取り組みながら施設運営を図ること。</p>

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館日を除き、業務基準書記載の開館日及び開館時間を確保していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合 (選定時加点)	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合 (選定時加点)	○	職員によるボランティア活動や地域住民、関係機関の助け合い、支えあい（見守り、声かけ）活動のほか、高齢者サロンの開催等の提案が実行されていた。
従事者の教育・研修	○	職員の外部研修参加や関係法令の勉強会等、多くの研修を実施し、職員の教育や研修が適切に実施されていた。
緊急事態への対応	◎	事故や災害等の緊急事態に対する対応マニュアルを作成し全職員に周知していたほか、避難、消火訓練や消防法に基づく訓練を適切に行うなど、非常によくできていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受理した文書の管理が適切に行われていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が遅滞なく提出され、その内容は適切であった。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適正であり、利用者へ確実に周知されていた。
利用料金の減免 ※承認料金制の場合	—	実績なし
使用料の徴収事務 ※徴収委託をしている場合	○	使用料の徴収事務や徴収した使用料の振込が適正に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理者の収支は専用口座で管理し経理区分が整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳及び印鑑は適切に管理されていた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	実績なし
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。

管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	使用制限、使用条件の変更、入場拒否は無く、施設使用許可が設置条例に従い適切に行われていた。
施設、設備の保守管理	○	防災設備点検、浄化槽保守・清掃、浴水レジオネラ属菌検査、貯水槽清掃等、施設・設備の保守管理が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の点検や修繕等が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	施設及び設備管理業務は、委託により適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	△	<p>【南郷デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数は前年度実績を下回った。 3年度 6,546人 4年度 5,382人（前年度比 82.2%） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年8月18日から8月24日まで、8月31日から9月1日まで休館。 <p>【老人福祉センター南郷】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数は前年度実績を上回った。 3年度 1,300人（うち入浴者数 719人） 4年度 1,543人（うち入浴者数 811人） ※前年度比 118.7%（入浴者数の前年度比 112.8%） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年4月1日から4月10日まで休館。 <p>前年度実績と比較し、施設の休館等の影響があり、両施設の延べ利用者数は減少した。</p>
備品貸出し状況	○	レクリエーション用具等は無償で貸出した。
その他利用状況	○	前年度と同様に地区民生委員児童委員協議会が利用した。 ・地区民生委員児童委員協議会（13回）
自主事業	○	多様な自主事業を展開し、多くの利用者が参加した。 ・健康相談（31回延べ176人）、いきいき健康講座（9回延べ154人）、高齢者生活安全教室（20回延べ122人）、介護予防教室（5回延べ52人）等 参加者数 延べ762人
その他の取組（運営に関する工夫）	○	デイサービスセンターと老人福祉センターが合同で自主事業を開催し、利用者同士の交流を図るなど工夫して運営に取り組んだ。

3 収支状況						
指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館した影響などにより、利用料収入が資金計画を下回ったものの、事務費等の経費削減に努め、黒字となった。				
		(単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入①	利用料金	48,850,000	46,316,620	54,552,090
			処遇改善支援補助金	0	260,901	0
			指定管理料	10,090,000	10,090,000	10,090,000
			電気ガス高騰対策支援補助金	0	186,000	0
			修繕料繰越金	328,622	328,622	140,852
			計	59,268,622	57,182,143	64,782,942
		支出②	人件費	37,666,000	39,808,023	41,108,701
			維持管理経費	12,332,622	11,145,199	10,918,604
事業費・一般事務費	9,270,000		5,457,239	6,229,405		
計	59,268,622		56,410,461	58,256,710		
	次年度修繕料繰越金③	0	567,982	328,622		
	収入－支出(①－②－③)	0	203,700	6,197,610		
自主事業の収支状況	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業の中止があり収入は計画を下回ったものの、赤字を回避することができた。				
		(単位：円)				
		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	
		収入 参加料等	319,000	106,251	45,086	
		支出 事業費	319,000	106,251	45,086	
		収入－支出	0	0	0	

4 運営に係る体制整備等の状況				
指標	評価	評価に対する説明		
利用者満足度の把握	○	利用者を含めた運営会議の開催や、施設内に意見箱を設置して、意見、要望等を反映させていた。		
施設概要(利用方法)の周知	○	自主事業実施の際には、民生委員や自治会長を通じ地区住民へ案内をしていたほか、「社協はちのへ」「南郷支局だより」を地区全戸に配付し、施設の活動を広く周知していた。		
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し周知していた。		
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。		
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。 ・職員研修で取り上げる等、個人情報の保護意識を高めていた。		
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。		
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。 ・職員会議で注意を促し、秘密保持が遵守されていた。		

環境への配慮	○	ごみの分別、リサイクルの推進、節電等に努めていた。 ・有用微生物を活用した環境浄化を取り入れ、環境に配慮した対応を適切に行っていた。
障がい者への配慮	○	障がい者へ配慮した対応を適切にしていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、日常業務始業前に、施設・設備・送迎車両を目視点検した。 ・震度4以上の地震が発生した際は、速やかに施設内を点検し、異常の有無を市担当課に報告した。 ・新型コロナウイルス感染予防のため、施設の消毒を徹底するとともに、衛生用品（消毒液、マスク、使い捨て手袋等）が不足することのないよう備蓄した。 ・利用者の安全を確保するため、専門業者による施設内外の環境整備や設備の点検等を行った。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月次報告書、四半期業務報告書、事業報告書が提出され、内容が適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	12回	毎月1回	担当	老人福祉センター南郷の使用料徴収状況及び施設の管理状況、事業実施状況等を確認。
	実施結果			
管理状況及び事業実施状況は良好であり、異常等への対応が適切に行われていた。				